

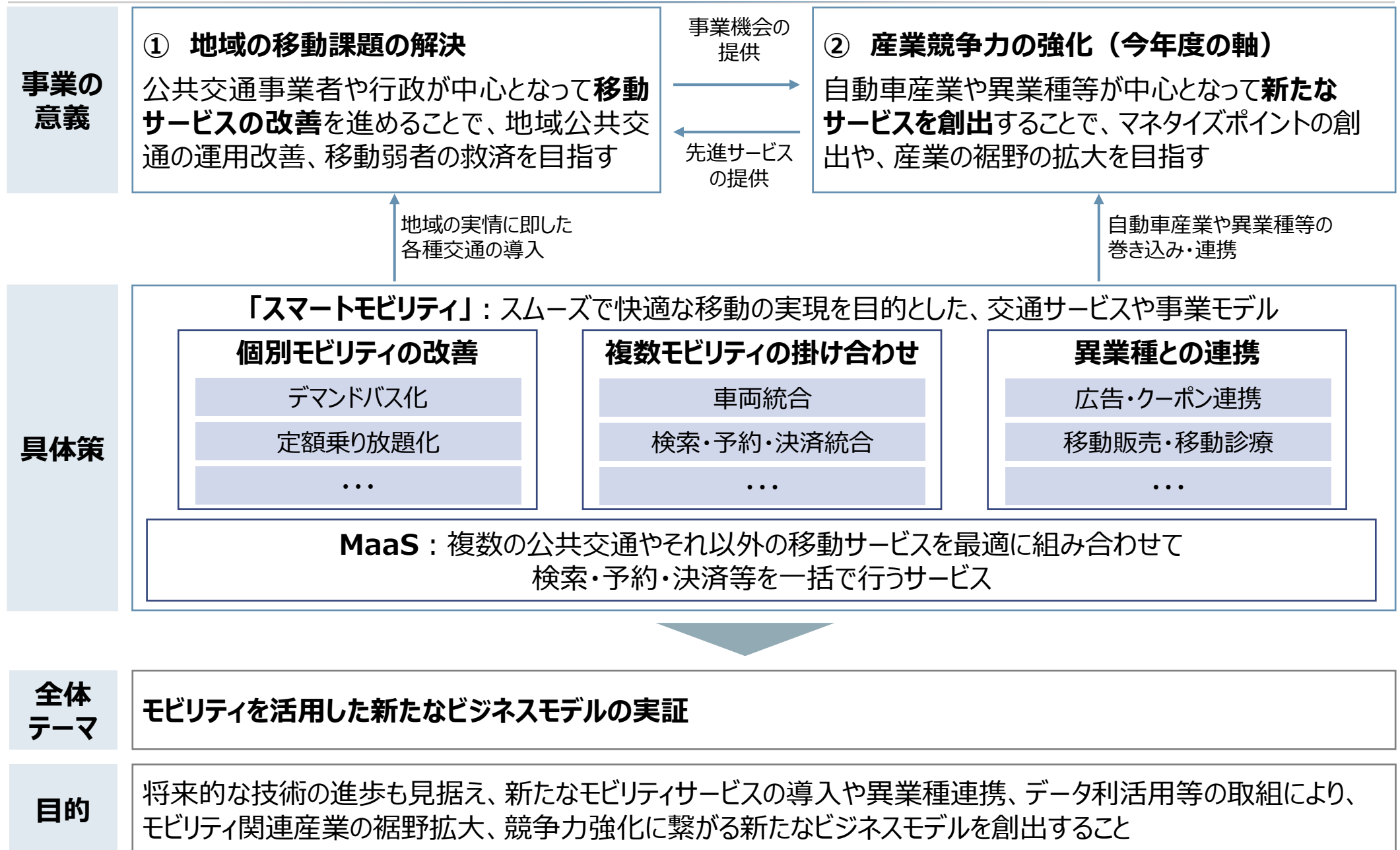
令和 6 年度

スマートモビリティチャレンジ 採択結果

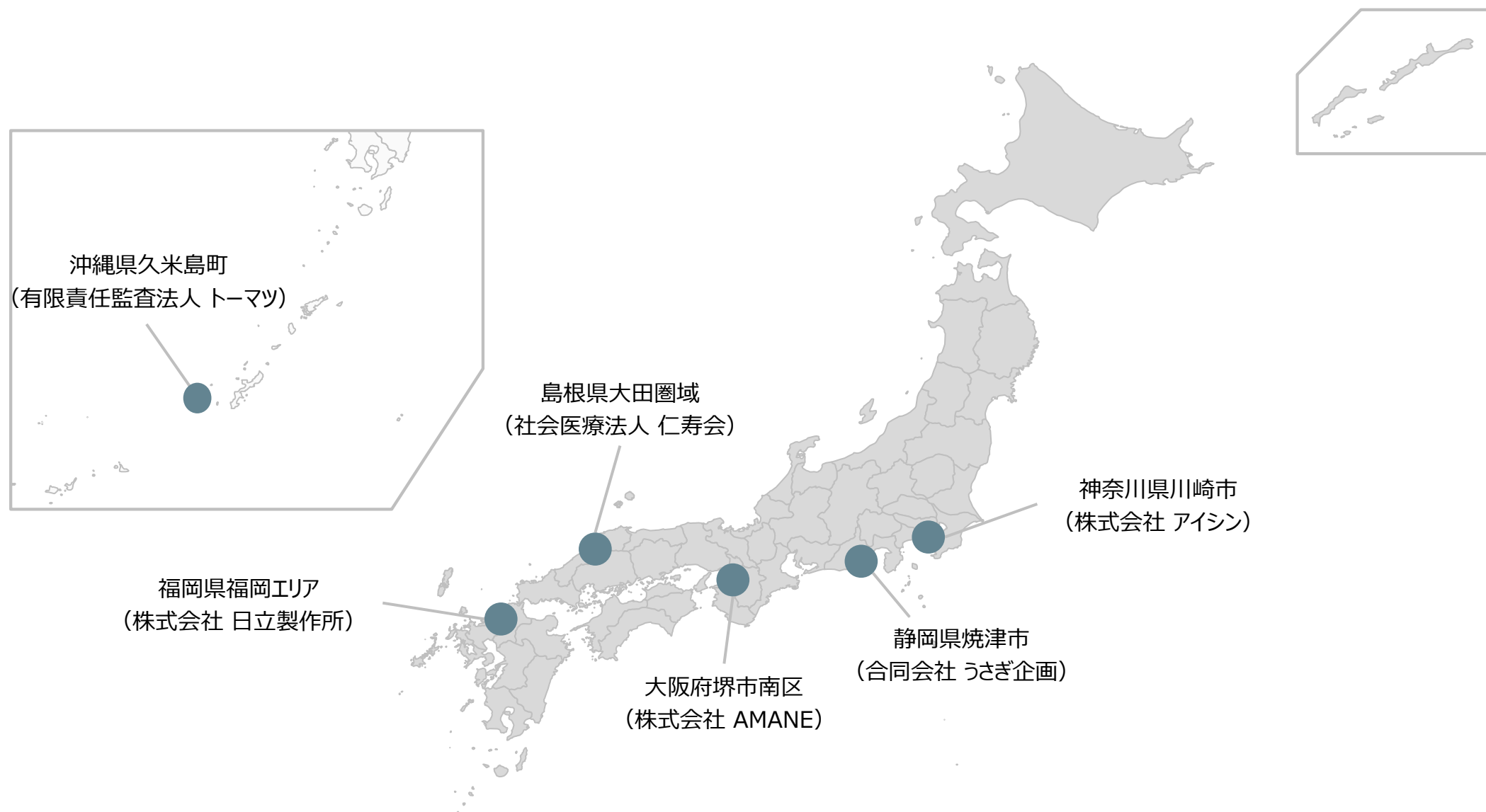


RoAD to the L4

令和6年度「地域新MaaS創出推進事業」の方向性・テーマ



令和6年度スマートモビリティチャレンジの先進パイロット地域（経産省事業）として6地域を選定



令和6年度採択地域の実証概要

神奈川県川崎市

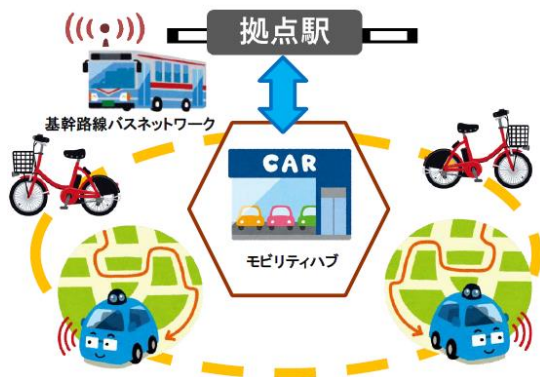
カーディーラーを活用した『地域のハブ』の実現性の検証

実施主体：株式会社アイシン

- カーディーラーを活用した「モビリティハブ」×「異業種サービス（物流・旅行・教育 等）連携」により、地域の生活を支える拠点の創出を目指す。
- 交通の乗換拠点に加え、宅配BOXや子育て・教育イベント等の多様なサービスを組合わせた実証を行い、各サービスの実現可能性を検証するとともに、カーディーラーの新たな需要や価値・事業性について検証する。

実証実験イメージ

<新しい交通サービスの展開イメージ>



<モビリティハブの活用イメージ>



スマートモビリティチャレンジ2024
自動運転レベル4等先進モビリティサービス研究開発・社会実装プロジェクト

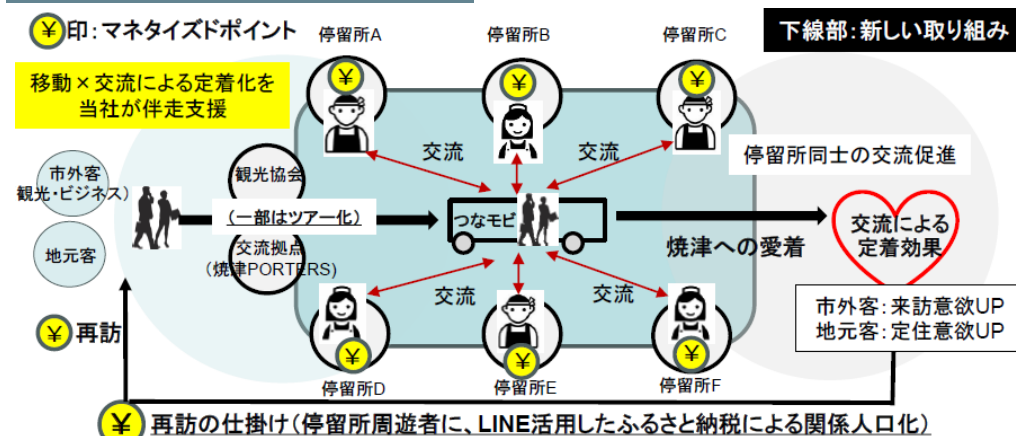
静岡県焼津市

移動×交流による地域マネタイズ含めた活性化効果と、新しい交通としての実装価値の検証

実施主体：合同会社うさぎ企画

- 街の魅力を発信する店舗・施設、地元の生活拠点を停留所としたグリーンスローモビリティをデマンド運行し、市内外客の周遊や交流による活性化効果を検証する。
- 周遊や交流による乗客の関係人口化・定着効果に加えて、従来の交通にない付加価値を持つ、新しい交通としての実装価値を検証・判断する。

実証実験イメージ



令和6年度採択地域の実証概要

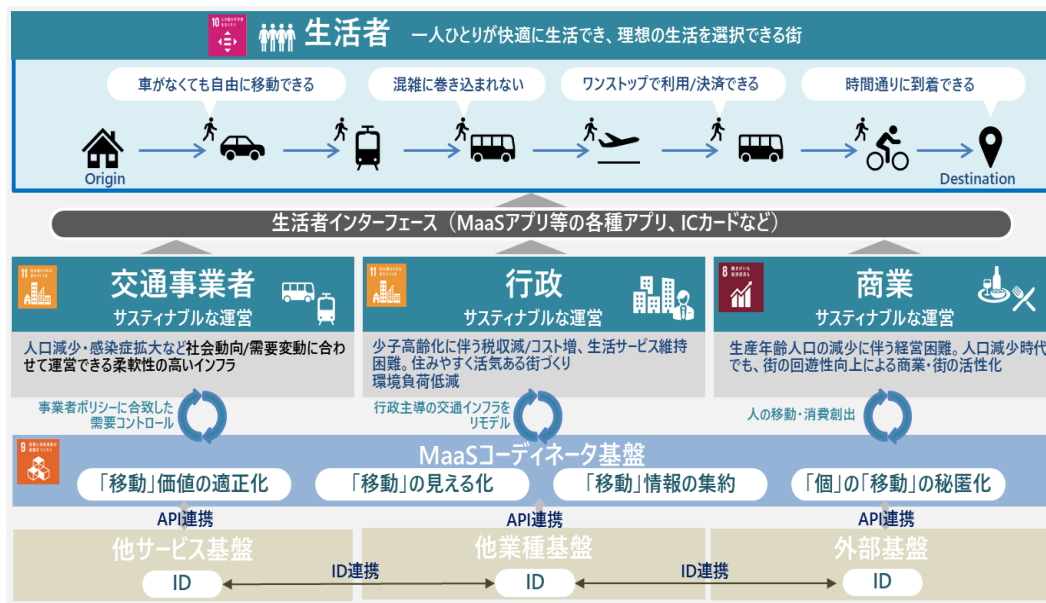
福岡エリア

モビリティデータ協調による MaaSコーディネータ事業のマネタイズ検証

実施主体：株式会社 日立製作所

- 複数の交通事業者が持つモビリティデータの連携・協調による**各交通事業者の移動リソース最適化**を目指す。
- データ精度向上やデータ活用の定着化に関する取組みを通じて、**データ利活用事業のマネタイズモデルの妥当性を検証し、横展開を見据えた社会実装のモデルケースを創出**する。

将来構想イメージ



スマートモビリティチャレンジ2024
自動運転レベル4等先進モビリティサービス研究開発・社会実装プロジェクト

沖縄県久米島町

観光コンテンツを前提としたモビリティの異業種連携による 事業多角化の検証

実施主体：有限責任監査法人トーマツ

- **グリーンスローモビリティによる周遊運行や異業種連携**による住民・観光客の新たな交通手段・サービス提供手段の確保を目指す。
- 観光利用と日常利用、異業種との掛け合わせによる**グリーンスローモビリティの収益性のモデル**を検証し、将来的なグリーンスローモビリティの**自動運転車両の導入**も見据え、自動運転実現に向けた路線検討や実現にむけた課題・対策を整理する。

将来構想イメージ



RoAD to the L4 6